

当院で血液検査を受けられたお子様の保護者の皆様へ

わたくしども、福岡徳洲会病院小児科では、川崎病という病気の原因を究明するための研究をおこなっております。

川崎病というのは、主として10歳未満の子どもがかかる病気です。日本では毎年約2万人の子どもがこの病気にかかります。日本の子どもの約1%以上が経験するという、非常に多い病気です。しかも、川崎病にかかる子どもの数は、日本だけでなく世界中で、年々増え続けています。

早期に診断し、適切に治療しないと心臓に後遺症を残すことがあります。しかしながら、原因が分かっていません。これまでの研究から、川崎病の発症に微生物が関与しているものと考えられています。その微生物が分かれば、この病気を予防したり、検査キットを開発することが可能となると期待されます。

わたくしどもでは、川崎病の患者さまと、そうでない子どもたちの血液を比較して、川崎病の原因となるような微生物を見つけようと努力しております。このため、川崎病の患者さまと、それ以外の子どもの血液が必要となります。この研究では、研究目的で新しく採血したり、余分に採血することは決してありません。治療のために検査したあとの血液検体は、通常なら廃棄されますが、わたくしどもの研究では、この廃棄するはずの、残りの検体のみを使用します。

検体を使用させていただいた方の個人情報（例えば、お名前、御住所）などは決して公開されません。また、後日、検体の使用を辞退されたい場合は、以下にご連絡いただければ使用しないようにいたします。検体は研究終了の5年後に廃棄いたします。

日本と世界の子どもたちの健康にとって、非常に大きな意味を持つ研究です。ご理解とご協力をお願いいたします。

研究責任者

福岡徳洲会病院 小児科 長尾吉郎

代表☎ 092-573-6622